



# 北中だより

令和3年度

第1号

令和3年4月8日

発行者；赤坂治之



## 教育目標「創造 連帯 健康」の実現を目指して

春たけなわの季節となり、草木は、生徒の成長を祝福するかのようになつた芽吹きを見せています。しかし、新型コロナウイルス感染拡大は、波状の流行を見せ、未だ終息の気配が見えない状況です。そのような中ですが、本校は、文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～」等に従い、生徒が安心・安全に学校生活を送れるように対策を取り、指導を行ってまいります。



本校でも今春の人事異動に伴って、新しい指導体制となりました。今年度も生徒がより良く成長できますように教職員が一丸となって支援・指導してまいりますので、保護者の皆様、地域の皆様の温かいご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

### ◆今春の人事異動について

今春の定期異動により7名の先生方が、転退出されました。転退出された先生方には、これまで生徒を丁寧にご指導いただき、本当にありがとうございました。新たな勤務先でのご活躍を祈念いたします。

転入された先生方には、生徒のより良い成長のためにご活躍いただけることを願っております。

#### ○転退職者

- ・須藤 泰章（坂西中学校へ）
- ・増田 典子（協和中学校へ）
- ・片山 彰（佐野北中学校へ）
- ・荒 壮瑠（西中学校へ）
- ・石井 則子（邑楽町教育相談室へ）
- ・荻野 雅之（山辺中学校へ）
- ・新井 博（山辺中学校へ）

#### ○転任者

- ・赤坂 治之（毛野南小学校から）
- ・岩原 浩一（西中学校から）
- ・服部 学（佐野高校附属中学校から）
- ・斉藤 敦（坂西中学校から）
- ・赤木 奎太（佐野城北小学校から）



#### 【 赴任あいさつ 】 校長 赤坂 治之

今春の定期異動で、須藤泰章校長先生の後任として赴任いたしました赤坂治之です。

北中学校には、平成3年度から12年間勤務をさせていただきましたので、18年ぶりに戻ったこととなります。当時は、教科指導では、理科を中心に社会や技術家庭を担当していました。また、部活動では、ソフトテニスやパソコン等の顧問をさせていただいていました。

より良い学校作りを行いたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



# — 今年度の学校づくりの基本方針 —



学校は、生徒にとって、安心・安全で、友達や先生と一緒に、自己を確立する場であると考えます。そのためには、常に生徒を中心に据えることを原点として、教職員は、絶えず生徒に寄り添い、一人一人の願いや思いを丁寧に把握しながら、その良さを認め励まし、自信と意欲を持たせる教育活動を展開して行くことが必要です。

特に、今年度は、新学習指導要領の完全実施の年度となります。新学習指導要領では、生徒の「生きる力」をつけるために、「**社会に開かれた教育課程**」が示され、子どもたちの指導にあたっては、教育活動を保護者や地域の方々と協働して行うことが求められています。

協働して指導に取り組むことにより、子どもたちにとって、「**今日も学校が楽しかった**」（満足感）「**明日も早く学校に行きたい**」（期待感）。保護者にとって、「**我が子を北中に通わせてよかった**」（安心感）。地域の皆様にとって、「**北中のために何か協力したい**」と思える学校づくりを行います。

## << 目指すべき生徒の姿 >>

教科指導のみならず学校行事など様々な教育活動を通じて、学校教育目標「創造・連帯・健康」で示されている目指すべき生徒の姿に迫れるように指導します。



### 【指導の方針】

「学び合い支え合う授業の展開」と「互いの良さを認め合い、尊重し合える人間関係づくり」を教育活動の中核に据えて、主体的に、人とのつながりを大切にしながら、逞しく根気強く物事に取り組む生徒を育成する。

**創造 (知)**  
よく学び創造に努める人

**連帯 (徳)**  
美しい心で良く助け合う人

**健康 (体)**  
じょうぶで困難に耐える人

## ◆今年度の重点課題 ～ここに力を入れて教育活動をおこないます～

### ◎『学び合い支え合う授業づくり』をより一層充実させます。

本校の教育活動の中核をなす学び合い活動は、生徒一人一人の学力の向上を目指すだけでなく、活動を行う時に、大事なこととして、「誰一人疎外しない」、「人の話をしっかり聴く」を意識させることにより相手を大切にすると人権感覚の育成にも繋がります。

### ◎生徒一人一人が大切にされ、互いに高め合える集団づくりを行います。

教員が、生徒一人一人をしっかりと見取り、「聴く」・「つなぐ」・「戻す」・「ケアする」などを通じて、寄り添うことによって自己肯定感（自分を大切にすると気持ち）を持てるようにします。

また、学級活動、生徒会活動、学校行事などで生徒の主体的な活動を促すことによって、帰属意識・規範意識が高く、互いに高め合える集団づくりを行います。

### ◎北中学校区教育を推進します。

北中学校区には、生徒を成長させる「ひと・もの・こと」が揃った充実した教育環境があります。その環境を取り入れた教育活動を行うとともに、北中学校区4校で、目指すべき児童像・生徒像を共有して、児童生徒の義務教育9年間を見通した指導を足並みを揃えて行います。